

事業所名

スマイルキッズステーションきらきら

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		1. 「いつまでも住み慣れた自宅での生活を」という基本理念をもとに、利用者の方々の個性やこれまでの生活感を尊重し、生きがいを持って有意義に生活して頂くようサポートにつとめる。 2. 地域との関わりを持ちながら社会参加を促進する。 3. リハビリテーションを提供することで心身ともに元気に。 4. 家でも、どこでも、いつでも、えがおで								
支援方針		・子どもたちの特性を適切に把握し、その能力を最大限にいかせるように支援します。 ・子どもたちの思いに寄り添い、地域で安心して笑顔で過ごせるように支援を行います。								
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・健康状態、生活リズムの確認を行い、必要な対応を行います。 ・生活の中での課題をご家族や本人から伺い、個別に支援をします。 ・来所後の準備を丁寧に行うことにより、荷物の整理整頓や管理、スケジュールの把握など生活スキルの獲得を支援します。								
	運動・感覚	・粗大、微細運動などを通してボディイメージを養う支援を行います。 ・運動に関わる基本的な技術向上のためビジョントレーニングや姿勢、体幹、柔軟性を取り入れた支援を行います。 ・身体を使う課題を提供し、身体機能の維持、向上を図ります。 ・感覚の特性に配慮し、環境設定の提案と支援を行います。								
	認知・行動	・主体的な活動を通して遊びを深めていくことで認知力の向上を目指します。 ・登所時や活動中に日付や時計の確認を行い、時間の流れの習得ができるよう支援をします。 ・スケジュールの視覚化やタイムタイマーなどを用い、見通しを持って落ち着いて行動できるように支援をします。 ・感覚や認知の偏りから起こる行動、言動に対して適切に表出ができるよう支援をします。								
	言語 コミュニケーション	・指差し、サイン、カードなど一人ひとりにあったコミュニケーション手段を用い、意思の伝達ができるように支援をします。 ・集団活動や個別活動で、他者とやり取りをしたり、平仮名やカタカナ、数字などを使った活動を通して言葉の理解が広がるように支援をします。 ・集団活動に参加をしながら、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする経験を積むことができるように支援をします。								
	人間関係 社会性	・集団活動に参加するための手順やルールを理解を促したり、職員がモデルを示したりしながら、集団の中で協調して過ごせるように支援をします。 ・自分の行動の特徴を理解し、感情の調整ができるように支援をします。 ・他者と適切な距離や関わり方ができるよう、必要に応じて声かけ、モデルを示すなどで支援をします。								
家族支援		・連絡帳、送迎時やソーシャルネットワークなどで随時情報共有します。 ・家族からの相談や悩みについて必要に応じて面談を行い、相談援助を行います。				移行支援		・学校や卒業した園と連携し、情報共有を行います。		
地域支援・地域連携		・学校、福祉サービス等と連携し情報共有をします。 ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。				職員の質の向上		・新人職員研修 ・法定研修（虐待防止、ハラスメント、感染予防、緊急時対応等） ・外部研修、内部研修（避難訓練、SST、強度行動障害、摂食指導等） ・ケース検討会		
主な行事等		季節に合わせた製作や課外活動など（初詣、節分、ひな祭り、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど）								